

## 私の期待するドナルド・トランプ像

平和統一 NEWS No. 91 (2016/4月号)

渡辺 久義

私がここに書かせてもらっている毎月のエッセーが、字数制限があるために、いつも欲求不満に終わっている。一度、私の考えをまとめて書きたい、そのためには最低、この5、6倍のスペースが必要だと考えて、私の関係する世界平和教授アカデミーの雑誌「世界平和研究」(2016 春季号)に載せてもらうことにしたが、私の書くものに対してかなり“抵抗”があることがわかった。ある意味で私は“危険思想”の持主のようである。私は私に対するそういう見方を予想していたので、むしろ歓迎している。この時代、危険視されないで、どんな意味のあることが言えるだろうか？

おこがましいが、私は自分をトランプ米大統領候補に重ねてみたくなる。彼の人気は高いが、同時に彼は憎まれっ子である。そこで彼についての断片的知識から、私の期待するトランプ像を描いてみたい。まず彼はロシアのプーチン大統領を尊敬している。ロシアは敵国として「悪魔化」されているから、それだけでも怪しからんことである。にもかかわらず彼は、ある記者会見で「プーチンは人を殺したようだが…」と水を向けられると、彼は怒って言った、「それなら証拠を出してみろ、彼はそんな人ではない」と。なぜそう判断するのだろうか？まず彼は沈着冷静で、どんなに挑発され「悪魔化」されても全く動じない。またプーチン語録のどこを見てもわかるように、彼には表裏がない。しかしいったん決意をすると鬼のように怖い。いきなりテロリストを撃滅してさっと引き上げる。

おそらくプーチンが狙いを定めて時期をうかがっている、もっと大きな標的がある。そしてその標的はトランプの標的と一致する。それがアメリカを背後から動かす NWO (New World Order、グローバル・エリート、陰謀団、イルミナティ) である。トランプは、この売国奴たちによってアメリカが滅ぼされると言っているのである。ネオコンたちから見れば、こんなとんでもない野郎は生かしておけないので、いろいろ画策するのだが、こんなとんでもない野郎が出てこなければ、アメリカは先が真っ暗だと多くの目覚めた愛国者は見ている。(アメリカが9・11直後に作った「米愛国者法」は、このような愛国者を罪に陥れる法律である。)

トランプが、ルシファー(サタン)教徒としての NWO に狙いを定めているのは、次の発言

からわかる——「より大きな問題は、オバマがキリスト教徒に戦争を仕掛けていることだ。…キリスト教徒はこの国では支えが必要だ。彼らの宗教的自由が危ないのだ。」彼は、イスラム教徒をアメリカから締め出すと言ったが、これは、キリスト教がイスラムに征服される危険があるという意味でも、人種差別の意味でもないだろう。彼がそう言うとき頭にあるのは、おそらく、サウジアラビアという NWO の同盟者で、NWO 寡頭支配者のようにテロリストを使って世界制覇を狙う、サウド王族スンニ・イスラム少数権力のことである。サウジアラビアは、アメリカ製兵器の最大の顧客で、テロリストの給料も払ってくれる超金持ち集団であり、アメリカの権力エリートと同じように、個人が国を動かしている。トランプが、イスラム教徒を入れないと言うとき、考えているのは、この同盟に雇われるイスラム過激派のことだと思われる。実際、そのような者による大規模テロが、いつアメリカ本土で起こってもおかしくない。ディック・チェイニーがだいぶ前に、今度起こるテロは9・11 どころの規模ではないと予言したことがある。(トランプは大衆に向かってこんなややこしいことは言わない。)

また彼は、報道機関が自由の名において守られていることに、あえて異を唱えてこう言った——「新聞が故意に、ネガティブで恐ろしい虚偽の記事を書くときには、我々は彼らを訴え、多額のカネを請求できる。…ニューヨーク・タイムズが、完全に名誉棄損であるような攻撃記事 (hit piece) を書いたり、別の理由で存在するワシントン・ポストが、攻撃記事を書いたりするときは、訴えてカネを取ればよい。彼らが完全に保護されているという理由で、それができないのはおかしい。」これは明らかに、完全に政府の御用新聞となり、共犯者になっている主流メディアを改革する(というより本来の姿に戻す)ということで、NWO の武器であるプロパガンダの手段を取り上げると言っているのである。

トランプは過激発言で人を引き付けるが、新聞報道によれば、「CIA の拷問はやめる必要がない、水責めなどは生ぬるい、俺ならもっと恐ろしいのをやる」と言っただろう。新聞はこれを真に受けて国際法云々などと言っているが、こんな冗談なら誰でも言うだろう。これは今の CIA がやっている、吐くものがないのに吐かせる拷問でなくて、吐くものを腹いっぱい溜め込んでいる者たちの拷問のことであろう。NWO はウソと隠し事で成り立っていた政権である。

この期待ははずれるかもしれないが、私はトランプとプーチンが協力して、この世界を浄化してくれることを夢見ている。